

2020年11月1日

Value Management Innovation

株式会社ブイ・エム・アイ総研

「活・人・経・営[®]」コラム第83回

<企業家の役割>

新型コロナウイルスの猛威は世界中の生活や経済に大きく影響を及ぼしました。ビジネスの基本は人と人とのコミュニケーションで成り立ち、その繋がりは増々地球規模に広がっている事を再認識しつつ、従来の企業組織から新しく生まれ変わらねばならないことも私達は改めて学びました。

21世紀に入るとITは急速に進展して情報交換が驚くほど速くなり、コロナ禍におけるテレワークなど、在宅ワークも意外と速やかに進みました。セキュリティの技術を高度化しながら、デジタル技術は今後更に世界中で急速に進むでしょう。

一方で、ハイスピードで進む経済活動が地球のキャパシティを超えてきて、エネルギーや自然資源の無駄遣いも進み、これらがもたらす弊害を突破するイノベーションの創出が今、企業家に求められています。これからの企業家に共通して求めたい一番大きい資質は、人類と自然との共存や競争と協調の併存に根差した革新性でしょう。

弊社ではビジネスプロセスの改善活動や次代を担う新製品の開発などを主に支援させて頂いておりますが、改善活動を粘り強くエンドレスで継続しているとその効果は絶大で、プロセスイノベーションと表現できます。しかし従来の技術に捉われず時代の変化に対応した新製品やサービスの開発はプロダクトイノベーションと位置付けられます。弊社ではこの二つの異なるイノベーションを経営に組み込む経営をValue Management Innovationと表現しています。

<日本の経済改革と企業家>

いま、創造活動を展開するために、新しい企業文化を社会的に形成する必要がある。企業家風土の形成が不可欠なのである。そのためには、次の4点を重視する必要がある。

- 第1、個人の自立・自律である。組織は、個人の自由度を尊重する必要がある。
- 第2、異端・異質を認めることである。これは個性の評価につながる。
- 第3、失敗の許容である。創造への挑戦は、常に失敗を伴う。失敗から学ぶことは、きわめて重要である。
- 第4、自立を基礎にした連携である。個人をベースにしたネットワーキングが組織の内外において重要な意味を持つ。

— 出典：「企業家とは何か」清成忠男（J・A・シュンペーターの論文編訳） —